

# 「中仙モデル」に基づく授業改善における共通実践事項

「中仙モデル」で目指す児童生徒像

「自分の思いや考えを豊かに表現できる児童生徒」

令和5年度



目指す授業＝三つの「わ」（わくわく・わかる・わ【人の和】）

「中仙モデル」による授業の流れ

めあて（課題）の設定・見通し

自力解決

学び合い

まとめ

振り返り

## ポイント1

課題を子どもが自分のものとして捉えることのできる導入の工夫

【何を学ぶか】

【チェックポイント】

本時のねらいに即しためあて（課題）の設定

- ①必要感のあるめあて（課題）の設定が行われているか。
- ②「できそうだ！」という見通しをもつ場が設定されているか。

## ポイント2

各教科の「見方・考え方」を働かせた自力解決と学び合いの充実

【どのように学ぶか】

【チェックポイント】

「見方・考え方」を働かせた問題解決

- ①教科の「見方・考え方」に基づいた、視点や考え方を明確にしているか。
- ②ねらいに迫る焦点化した学び合いの充実が図られているか。

## ポイント3

問題解決の過程を振り返り、一人一人が学習の成果や課題を実感できる終末の工夫

【学びを生かす】

【チェックポイント】

「まとめ」と「振り返り」を生かした適切な評価

- ①キーワードや子どもの声を生かしたまとめになっているか。
- ②振り返りは、感想に止まらず、自己の変容や学びの深化、新たな「問い」を踏まえたものになっているか。

## R5 共通実践事項

子どもの「問い」を生かしためあて（課題）の設定

そのために……

- ・どの子も単元全体を見通せる視覚化等による環境づくり
- ・前時の振り返りやちがいに着目した課題意識の掘り起こし

※めあてをつかむまでの導入は素早く、すっきり！

## R5 共通実践事項

ねらいの達成につながる学び合い（言語活動）の充実

そのために……

- ・自力思考を生かす集団思考の時間確保とやることの焦点化
- ・核となる「見方・考え方」を働かせた学び合いの設定

※本時のゴールにつながる「学び合い」！

## R5 共通実践事項

自分の伸びや成長を実感できる終末の工夫

そのために……

- ・具体的な振り返りの視点の設定（発達段階に応じて段階的に）
- ・問題解決の過程の振り返りと確かな評価

※「まとめ」と「振り返り」の区別！

## R5 共通実践事項

ねらいに迫る 効果的なICTの活用

そのために……

- ・積極的な活用から効果的な活用へ
- ・「個別最適な学び」と「協働的な学び」をつなぐICT

※「リーディングDXスクール事業」の推進に沿った活用例の共有と指導者間交流の促進